



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

発行人：伴 信太郎
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: nobuban@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.24(2018.12) 本号の編集担当者 伴 信太郎

【支部情報】

1) 第7回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』

2018年11月25日(日) 場所: AOSSA (福井市地域交流プラザ) <http://www.kouryu.fukui.jp/>

テーマ『あおっさ♪かたろっさ♪予防医療口』

特別講師として亀田ファミリークリニック館山の岡田唯男先生をお招きし、「予防医療のすべて」と題して教育講演をいただきました。検診はむやみに勧めるのではなく、科学的根拠に基づいて勧めることの大切さを痛感できました。その後、予防医療の取組について、3演題ご発表いただき、フロアのみなさんから沢山のご意見と最後に岡田先生からもご意見をいただき、予防医療の取組についてたくさんヒントをいただきました。最後に福井大学地域プライマリケア講座の井階友貴先生に「地域いきいきけっこう健康コンテスト☆」WSを進行いただき、これまた沢山のアイデアを共有し、地域で住民のみなさん、多職種と色々な取り組みをしてみようとモチベーションを高めることができました！中部各地から多くご参加いただき、本当にありがとうございました。





2) 『中部ブロックポータル発表会』

2019年3月16日(土) 場所：名古屋大学医学部鶴友会館

●愛知県

1) 「ACCEL 2018 秋」2018年10月28日(日) 9:30-12:00

場所：中津川市健康福祉会館

ACCEL (Attractive Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents) は、名古屋大学総合診療科が主催するポータル発表会 (PF) の作成支援のミーティングです。年4回開催。今回は総勢16名の参加者でした。遠方開催にもかかわらず、愛知県内より3名の外部の先生方にご参加いただきました。今回は今年専門医を取得された藤崎 芙紗子先生より『専門医試験対策』のレクチャーをしていただきました。今後試験をうける専攻医とそれを支える指導医にとって非常に身なるレクチャーでした。

【今後の開催予定】

2019年1月12日(土) 14:00~16:00 名古屋大学医学部 会議室1

詳細を知りたい方や参加をご希望される方は、名古屋大学総合診療科 HP <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/accel/> もご参照ください。コアレクチャーの概要も参照いただけます。

すべての家庭医療専門医プログラムの専攻医、指導医、多職種のオープン参加を歓迎します。またPC認定医の受験や更新、家庭医療専門医更新でPF作成が必要な方も是非ご参加ください。詳細は下記アドレスにお気軽にご連絡ください。

連絡先：名古屋大学医学部附属病院総合診療科 (担当：安藤友一)

E-mail : ulando@med.nagoya-u.ac.jp

Tel & Fax : 052-744-2951



●岐阜県

【報告】

1) 第7回 Point-of-Care Ultrasound (POCUS) コース

日時：2018年9月16日(日) 13:00～17日(月) 13:00

会場：岐阜大学サテライトキャンパス

在宅診療でも十分に応用可能な超音波検査のハンズオンセミナーで、岐阜市では2017年の第3回に引き続き2回目の開催でした。40名の参加がありました。

2) 第40回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時：2018年10月12日(金) 19:00～21:20

会場：岐阜グランドホテル

講演：岐阜市民病院消化器内科 部長 加藤則廣先生「ケーススタディから考える多彩な腹部症状への対応と治療」

参加：研修医25名、指導医24名



【今後の予定】

1) 岐阜県支部設立準備会

日時：2018年12月13日(木) 18:00～19:30

場所：岐阜大学医学部

2) 第1回中部ブロック支部岐阜県地方会

日時：2019年1月12日(土) 15:00～17:00

場所：岐阜大学医学部附属病院

●福井県

1) Batty 先生ご来福

2018年10月 カナダトロント大学Family&Community Medicine 教授 HELEN P. BATTY 先生がご来福されました。

Journal Club 『Aspiration Pneumonia & Geriatric Medicine』

10月25日(木) 誤嚥性肺炎、サルコペニア、アドバンスケアプランニングをテーマに開催いたしました。

後期研修医の先生はまとめ役として、初期研修医の先生方と2か月以上準備を行い、当日はとても素敵な発表となりました。Batty 先生からも的確なコメント、発表者に対するフィードバックをいただきました。コンセプトはハローウィン！魔法使いでした。

Lectures 老年医学、FD、ポートフォリオ、ウイメンズヘルスなどについてご滞在の間多くのレクチャーを受けることができました。わかりやすい英語の中にエッセンスがいっぱい詰め込まれており、とても満足度の高い講義となりました。カナダにはFPが45%もおられることなど目から鱗の情報の連続でした。カナダトロントに行きたくくなりました。



魔法使い なんの映画かはひ・み・つです。

2) 2018 年度 第 2 回福井県家庭医療ポータル発表会

2018 年 11 月 24 日 (土) 福井駅最寄りの AOSSA 福井にて、2018 年度第 2 回福井県家庭医療ポータル発表会が開かれました。今回は、特別講師に日本の家庭医療の第一人者である、亀田ファミリークリニック館山院長の岡田唯男先生を招聘し、盛大に開催することができました。

Famiy Medicine Studio 永平寺 Vol.3 Experts と出逢い、家庭医療の醍醐味を感じよう。

福井大学医学部附属病院総合診療部の専攻医新野保路先生、心理士の新野青那先生、家庭医療指導医の此下尚寛先生ら有志で活動している Famiy Medicine Studio 永平寺の企画の一環で、学生・初期研修医向け企画が行われました。夏季セミナーの Meet The Expert を意識してワークショップを開催し、多数の学生・初期研修医の先生が参加



され、それぞれが必要とする答えを見出せたようで相談が尽きないほど盛り上がりを見せていました。岡田先生から家庭医療についてご講演を賜り、家庭医療の未来について大変心強いお言葉を多数頂戴いたしました。福井県内の先生も多数ご参加いただき、専攻医の大濱先生の実体験も踏まえ、参加者同士の交流を楽しんでいただくことができました。今後も総合診療医を目指す先生が増えるように活動を継続してまいります。詳細は Facebook で検索！：「FamilyMedicineStudio 永平寺」日々の活動やイベントを up しております。



ポータル発表会

亀田ファミリークリニック館山院長の岡田唯男先生より、特別講演「研究のポータル作成のコツ」と題して、アカデミックな視点で、研究のポータル作成の本質についてと、専攻医目線での具体的な研究ポータル作成のコツについてご講演をいただきました。岡田先生のプレゼンテーションは、対話型で、自分の考えをしっかりと根本から形作っていただけ、漠然と考えていた研究とは何か？についてご指導をいただきました。専攻医 5 名

からはショーケースポートフォリオを発表させていただきました。発表される内容も、ポートフォリオのなかでも難しい領域に取り組んだ内容が多くなってきており専攻医の方々のレベルアップを実感させる内容でした。岡田先生からの的確な理論からのアドバイスで、普段は考えない視点の広がりが見られ専攻医の方々も満足を得られているようでした。会場の指導医からも、専攻医の全体的な成長に合わせた的確な指導があり、ポートフォリオ発表会自体の発展を感じさせる内容でした。



福井大学医学部附属病院総合診療部ホームページ <http://u-fukui-fm.com>

福井大学医学部附属病院救急総合診療部 Facebook



3) 実践×協働 健康のまちづくりアカデミー 第2期開講！

家庭医療専門医のコンピテンシーの1つである地域志向アプローチに通ずる「健康のまちづくり」。まちづくりを行う上で、医学系研究科だけでなく、工学系（環境工学）、教育学系、社会学系の関与は重要です。福井大学では、大学の全学部（工学部、教育学部、国際地域学部、医学部）の教員が「地域づくりコンソーシアム」を結成し、昨年度より、全国の医学部のみならず全学部の学生・専門職による広域多職種連携教育をもとにした通年制のセミナー「健康のまちづくりアカデミー」を開講いたしました。今年度も平成30年9月15日より、県内外から23名の学生・専門職が参加し、特別講義やワークショップ、まちなかでの実践を通して、福井県高浜町を舞台に健康のまちづくりを楽しく学んでいます。第1・2期生や、たかはま地域☆医療サポーターの会の皆さんとの交流も進み、地域をケアする視点の学びを深めています。

<http://www.kenko-machizukuri.net/academy/>

4) 福井県高浜町の取り組みがプラチナ大賞「地域づくり賞」受賞

これからの日本の抱える課題を精力的・先進的に取り組む自治体や企業等を顕彰する「プラチナ大賞」にて、高浜町の「“医住”から“移住”へ～地域総出で支える安心医療のまちづくり・10年の軌跡」が、第6回「地域づくり賞」を受賞しました。高浜町、福井大学、たかはま地域医療サポーターの会（住民有志団体）の協働で取り組んだ、住民啓発活動、地域医療教育、健康のまちづくりの各種活動に対し、10年間のまちぐるみの協働の様子が評価されました。これからも楽しくてつながりが広がる取り組みを地道に展開していきたいと思っております。





まち・ひと・からだづくりに
関心のある/関連する

学生/高校生/専門職/
行政関係者: **20名**

※申し込み先着順

実践×協働

健康の
まちづくり
アカデミー
in 福井県 **高浜町**



※受講後も引き続き町の健康まちづくりや
本事業に関わって下さる方歓迎☆

受講無料

※交通費・食事は各自負担下さい
※宿泊費は不要です

■平成30年度スケジュール

◆第1日程 (系統講義・ワークショップ)
9月15日(土)10時~17日(月祝)17時

◆第2日程 (イベント実習・特別講義)
3月16日(土)~17日(日)17時

※上記日程は原則必修になります。

※上記日程以外でも適宜、まちなか
実習が可能です(自由参加)。



人口減少社会の日本。都会では急激な高齢化、地方では消滅可能性、このままではいずれ破綻することは明白です。まちづくりだけでもダメ。ひとづくりだけでもダメ。からだづくりだけでもダメ。ここはひとつ、多分野で協力して、乗り切ろうではありませんか。

「実践!健康のまちづくりアカデミー」では、
①健康のまちづくりに関する机上の理論学習と
地域での実践実習の融合
②地域づくり(社会学)、まちづくり(工学)、
ひとづくり(教育学)、からだづくり(医学)の
多分野にわたる広域多職種協働/連携教育
により、まちの気持ちが分かるまちの救世主を
育成して参ります。



理論×実践
=まちづくり



詳細はこちら ⇨ www.kenko-machizukuri.net/academy/

■平成30年度講師

福井大学地域づくり
コンソーシアム

工学部	野嶋 慎二	教授
教育学部	岸 俊行	准教授
国際地域学部	田中 志敬	講師
医学部	井階 友貴	教授

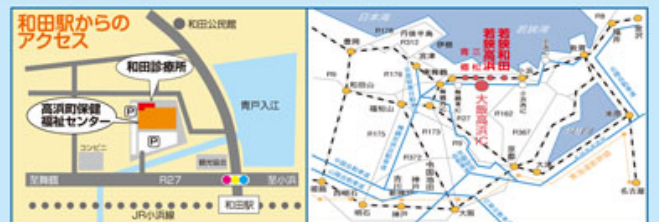


■広域多職種
協働/連携教育



■平成30年度特別講師

- ものがたり法人FireWorks
プロデューサー 五井潤利明氏
- studio-L 西上ありさ氏
- 株式会社いろどり
代表取締役 横石知二氏
- ハーバード公衆衛生大学院
社会・行動科学学部
イチロー・カワチ 教授



■会場: 高浜町保健福祉センター等 (若狭和田駅徒歩3分)



多分野
交流

■共催

- ◆福井大学 地域づくりコンソーシアム
- ◆たかはまコミュニティケアコンソーシアム
- ◆たかはま地域☆医療サポーターの会
- ◆高浜町



■申し込み・お問い合わせ

健康のまちづくりアカデミー事務局
(福井大学医学部地域プライマリケア講座)
〒919-2201福井県大飯郡高浜町和田117-68 (和田診療所内)
TEL: 0770-72-6136 / Mail: tomoki@ikaike.jp

【今後の予定】

1) PIPC 福井大セミナー2018

日時 2018年12月9日(日) 9:00-16:30

場所 福井商工会議所ビル 国際ホール (B1F)

パワフルな PIPC 研究会の井出広幸先生・木村勝智先生・宮崎仁先生のお三名が2年ぶりに来福！精神科スーパーバイザー向井雅美先生(むかい心療内科クリニック)と、当科林寛之教授との見事なセッションであつという間の濃厚な1日ベーシックコースです。プライマリケアの現場での適切な精神科対応を学びます。

2) 2019年度第1回福井県家庭医療ポートフォリオ発表会

日時 2019年6月9日(日) 13:00~18:30頃予定

場所 福井大学医学部附属病院 臨床研修教育センター 白翁会ホール

特別講師 南郷栄秀 先生(東京北医療センター 総合診療科医長、指導医)

特別講師として南郷栄秀先生にお越しいただき、

EBMのポートフォリオ作成をテーマにご講演いただく予定です。

詳細は、福井大学医学部附属病院総合診療部ホームページをご参照ください <http://u-fukui-fm.com>



●石川県

【報告】

第5回クリニカルラウンド テーマ：緩和ケアについて

講師：珠洲市総合病院 内科医師 吉倉 昌平 先生

日時：平成30年9月25日(火)19:00~20:00

場所：珠洲市総合病院 2階会議室 参加者：24名



第6回クリニカルラウンド テーマ：医者は現場でどう考えるか

講師：公立宇出津総合病院 小児科医師 谷内 裕輔 先生

日時：平成30年10月15日(月)19:00~20:00

場所：公立宇出津総合病院 2階会議室 参加者：32名



第7回クリニカルラウンド テーマ：高血圧の患者さんを地域で支えるために

講師：公立穴水総合病院 山崎 愛大 先生

日時：平成30年11月21日(水)19:00~20:00

場所：公立穴水総合病院 2階会議室 参加者：22名



【今後の予定】

第8回クリニカルラウンド

講師：市立輪島病院 青山 航也 先生

日時：平成30年12月6日(木)19:00~20:00

場所：市立輪島病院 2階会議室

●静岡県

【報告】

『第6回静岡プライマリ・ケアフォーラム第31回東海家庭医療ネットワークカンファレンス in 浜松』

日時：2018年9月9日（日） 13:30-17:00

場所：アクトシティ研修交流センター 402 会議室 浜松市中区中央 3-9-1（楽器博物館上）

13:30 開会挨拶 静岡県支部代表 北西 史直（トータルファミリーケア北西医院）

東海家庭医療ネットワーク代表 田中 久也（田中医院）

13:35 第1部 講演 「優秀な家庭医の育成に必要なたった一つ？のこと」

岡田 唯男先生（亀田ファミリークリニック 館山）

座長 金子 惇（浜松医科大学地域家庭医療学講座/静岡家庭医養成プログラム）

15:15 第2部 一般演題発表 座長 田中 久也（田中医院）

演題 1：学生が研究・学会発表する意義と指導医への要望について 久保田祥央

演題 2：原発性アルドステロン症疑いの中年女性に対して PCCM を実践した一例 松永拓

演題 3：健診異常で受診した高血圧患者に行動変容を促し内服治療を開始できた事例 伊藤 晴規

演題 4：誤嚥性肺炎患者に嚥下評価・嚥下リハビリテーションを行ったが改善しなかった事例

原田高根

演題 5：診療所をベースにした高校生 1 日医師体験のとりくみ

～医学部受験生に「地域医療」→家庭医療を発信する～ 杉山 大

演題 6：居住系施設での看取りをどう支えるのか ～第2弾：デスカンファレンスの報告～

水谷民奈

演題 7：プライマリ・ケア医と小児在宅医療・療育

～緊急対応からプライマリ・ケア医の役割を考える～ 島崎亮司

16:40 静岡県支部総会、東海家庭医療ネットワークからお知らせ

閉会挨拶 静岡県支部副代表 井上 真智子（浜松医科大学地域家庭医療学講座）

写真撮影、アンケート記入

17:00 懇親会

●参加者実績

医師 34 名、他職種 10 名 初期研修医 1 名、学生 7 名 合計 52 名

●講演報告

「優秀な家庭医の育成に必要なたった一つ？のこと」という題で亀田ファミリークリニック・館山の岡田唯男先生にご講演頂きました。家庭医療の教育で重要な事、プログラムを軌道に乗せるのに必要な事などたくさんのパールを具体的な数字と共に分かりやすく教えて下さいました。中でも重要なものとして「どうしても一つ選ぶとしたら」と前置きした上で「セレクションなく全ての患者さんが受診してくれる環境づくり」を挙げ、そのために岡田先生や亀田のスタッフの方がどの様な努力をされているかを教えて頂きました。明日から真似できるところをぜひ真似したいと思わせてくれる内容でした。





その他各地の話題

第15回 慢性期医療を考える会

日時：平成30年9月13日(木) 19:00～ 場所：もくせい会館(静岡市葵区)

一般演題

1. 慢性心不全に対する心臓リハビリテーション

演者：おもて循環器科理学療法士 小野慎太郎先生

2. 心不全患者に対する食事療法

演者：静岡市立静岡病院栄養管理科 久保田美保子先生

特別講演 高齢者心不全の治療・管理 ―再入院をさせないためには―

演者：医療法人社団ゆみの理事長 弓野大先生

内容：高齢者心不全は慢性疾患であると同時に進行性・不可逆性に終末期医療を考えるべき疾患としての重要度が高い。今回は心不全の慢性期管理から緩和ケア、終末期の意思決定支援の在り方まで経験に基づく幅広い講演を頂いた。他職種連携、とくに訪問看護師の役割を強調されていたのが印象的だった。

【今後の予定】

第7回静岡プライマリ・ケアフォーラム

(平成30年度第2回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)

～プライマリ・ケア教育とこれからの医療のかたち～

日時：平成31年1月19日(土) 14:00～17:30

場所：JR静岡駅ビル「パルシェ」7階特別会議室1

〒420-0851 静岡市葵区黒金町49番地、TEL:054(252)2202

14:00-14:45 一般演題(ポートフォリオ) 2-3題

14:45-15:45 ポートフォリオライブ指導

指導医：国立病院機構東京医療センター臨床研修科医長 尾藤誠司先生

16:00-17:00 講演 「“illness”の最前線と最先端」

講師：国立病院機構東京医療センター臨床研修科医長 尾藤誠司先生

17:00-17:30 静岡県支部総会

会費2000円(コメディカル1000円、初期研修医・学生無料)

日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医3単位、日本プライマリ・ケア連合学会認定薬剤師2単位、日本医師会生涯教育3単位

※会終了後、静岡駅近くで二次会を用意しています。できれば事前にお申込みください。

お問い合わせ：トータルファミリーケア北西医院 北西史直

TEL:0545-61-0119、FAX:0545-61-0306 frisco(@)wonder.ocn.ne.jp

●三重県

1) 三重大学総合診療プログラムのレジデントデイを開催

日 時：2018年8月28日（火）15:00～18:00 会 場：三重県立一志病院

講 師：四方 哲先生、岩佐 紘先生

四方先生のハンズオンセミナーでは、「誰も教えてくれなかった

Minor surgery」をテーマとし、12歳女性の顔面裂創の処置を

例題に、ロールプレイをしながら皆で議論し、縫合手技の練習。

岩佐 紘先生のハンズオンセミナーではマイナーエマージェンシーを

テーマとし、痛くない創傷処置、指尖部損傷、鼻・耳異物、足を捻った

といった症状への対処法としてシミュレーターを使用しながらの指導。



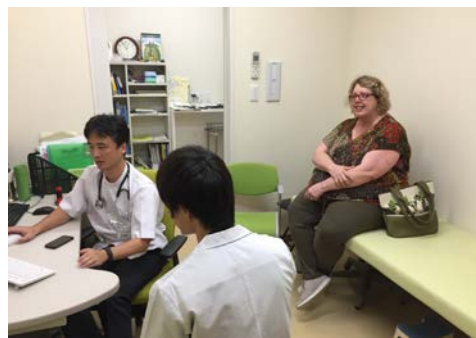
2) 国際家庭医療セミナーin 三重を開催

日 時：2018年9月21日（金）18:00～20:00 会 場：三重大学探索医学研究棟 家庭医療学教室

講 師：Jennene Greenhill 副学部長（豪州フリンダース大学地域医療学部）

フリンダース大学では、1年間もの長期間医学生が地域のクリニックや病院で実際の医師のように診療へ参加しながら学ぶ地域基盤型実習（Longitudinal Rural Clinical Clerkship, LRCC）を行っています。今回の講演を通じて、LRCCの利点やエビデンスをお話いただきました。単によい教育方法を知るだけではなく、実際にLRCCを取り入れる時の障害や苦勞についても学ぶことができ、また地域で学ぶ医学生へ効果的な支援のあり方についても、参加者と活発に議論いただきました。

翌日の9月22日には総合診療の専攻医が地域で学ぶ実際の姿を一緒にご覧いただき、日本での総合診療医専攻医の訪問診療や外来診療、そしてそれをどのようにファシリテートしているかの実際を見ていただき、Jennene Greenhill先生にも喜んで頂いたと感じています。



3) 志摩市国際家庭医療セミナーin 三重

日 時：2018年9月24日（月祝日）15:00～16:30(受付開始14:55～)

会 場：志摩市阿児アリーナ ミーティングルーム

講 師：Jennene Greenhill 副学部長（豪州フリンダース大学地域医療学部）

演 題：「田舎の医者不足を解決する方法とは」

9月24日には志摩市民病院主催でJennene Greenhill先生を講師として講演会を開催しました。医療関係者だけでなく一般市民、志摩市長、志摩市役所職員なども参加して、講演に引き続き活発な質疑応答で盛り上がりました。志摩市民病院で医学生を積極的に受け入れている活動が、最先端に行くフリンダース大学にもまげず画期的で、効果的な活動であるということが参加者で共有されました。

4) 老いと演劇のワークショップを開催 (三重県プライマリ・ケアセンター主催)

日 時：2018年10月9日(火) 15:00～16:30 会 場：三重県立一志病院2階会議室

講 師：菅原 直樹氏 (俳優・介護福祉士)

受講者：介護支援専門員、介護福祉士、医師、看護師、
医学生、看護学生等22名

ちょっとした演技の手法を使うことで、介護する側もある側も
お互いをもっと楽に気持ちよく過ごせる。そんな体験ができ
早速明日から使えそうな内容でした。介護や認知症への理解を
深め楽しいひと時となりました。



5) 第7回プライマリ・ケアエキスパートナース研修会を開催

日 時：2018年11月17日(土) 13:00～16:00 会 場：三重県立一志病院2階会議室

7月の第6回に引き続き、エキスパートナースとして必要なコミュニケーションスキルについて後藤道子先生より講義を受け、模擬患者による苦情対応のロールプレイを行いました。模擬患者さんの迫真に迫る演技に現役の看護師さんも一生懸命対応し充実した時間となりました。後半は三重県立一志病院の澁谷看護部長に「地域包括ケアシステムの中で、今私たち看護師にもとめられていること」について、実際に包括ケアの中でどのような活動を行っているか紹介してもらいました。



【予定】

1) 感染症講義シリーズ (谷崎隆太郎先生) 18:30～19:30 家庭医療学/総合診療科 医局

2018年12月18日(火) 第9回 「インフルエンザ診療の裏側～なんのために臨床医が存在するのか～」

2019年1月29日(火) 第10回 「知っておきたいワクチンのハナシ～予防に勝る治療なし！を実感する～」

2019年2月26日(火) 第11回 「渡航医学の基本 (Pre-travel) ～知ると絶対得する、安全に渡航するためのTips」

2019年3月19日(火) 第12回 「発熱・皮膚の鑑別～感染症とは限らない～」

2) ポートフォリオ発表会

日 程：2019年12月2日(日) 9:00～12:00 会 場：三重大学地域イノベーション研究開発拠点D棟3F

●富山県

【報告】

1) 国立大阪医療センター 総合診療科 松本謙太郎先生によるマツケンカンファレンス

日程：2018年10月1日（月）

会場：南砺市民病院

臨床推論2回勝負！！の第1回として松本先生から2症例が提示された。研修医がチームを組んで臨床推論を行う方式を通じて、フィジカルの大切さだけでなく、家庭医療の知識も必要であるというメッセージも伝えられた。



2) 南砺市民病院 第6回スキルアップセミナー 臨床推論2回勝負！！第2回

日程：2018年11月30日（金）

講師：洛和会丸太町病院 救急総合診療科部長
上田剛士先生

上田先生による2時間のレクチャーが行われた。

テーマは胸壁症候群で、筋骨格系の痛みには様々な鑑別診断があることを豊富な文献を通じて提示された。



3) 平成30年度 第3回 とやまいぴー（とやま多職種連携教育プロジェクト）

日程：2018年11月25日（日）

会場：富山市まちなか総合ケアセンター

今回初の試みとして多職種事例検討では、産婦人科医とのコラボレーションにより「女性アスリートのサポート」についての事例検討・意見交換を行った。スポーツ指導者やアスリートである子供たちの誤った認識による、女性三主徴（疲労骨折や無月経、摂食障害）への対応とその支援の紹介があった。



【予定】

1) 2018年度 第2回 とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム ポートフォリオ発表会

日程：2018年12月15日（土） 会場：富山市まちなか総合ケアセンター

2) 第14回 富山県地域医療フォーラム

日程：2019年3月2日（日） 会場：富山市まちなか総合ケアセンター

講師：医療法人社団弓削メディカルクリニック 雨森正記先生

<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；伴信太郎、福井県；林寛之、静岡県；北西史直

- プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）
- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。
木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp